

会 務 月 報

第470号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■令和4年3月通常理事会

1. 日時 令和4年3月17日（木）13:30～15:05

2. 場所 日事連会議室

3. 理事総数及び出席理事数

総数35名、出席数30名

4. 出席者及び欠席者の氏名

出席者

会 長 児玉耕二

副 会 長 岩本茂美、戸田和孝、庄司雅美、白井 勇、
木下賀之、丸川眞太郎

専務理事 居谷献弥

常任理事 舟幡 健、小林正澄、上野浩也、霜村将博、
南 孝雄

理 事 石崎和志、伊藤公績、井上勝徳、柏本 保、
加藤 彰、金子康男、栗田政明、坂本忠志、
佐野吉彦、柴田淳一郎、瀧本裕之、富樫 亮、
仲摩和雄、西森敬祐、本澤 崇、宮原浩輔、
村田良太

監 事 三好定和

事 務 局 前田、千浜、伊東、野出、三浦、鈴木

欠席者

常任理事 藤原 薫

理 事 相原清安、内田 要、川元 茂、佐々木宏幸

監 事 栗原信幸

5. 議 事

(1) 議長の選任

児玉耕二会長が議長に選任された。

(2) 議事録署名人の確認

定款第45条第2項の規定により、議事録署名人は以下の者であることが確認された。

児玉耕二会長、三好定和監事

(3) 議決事項

1) 令和4年度事業計画の承認の件

居谷専務理事及び各常置委員会委員長より、資料1によって令和4年度の事業計画策定、総務・財務、教育・情報、業務・技術、広報・渉外、指導運営、建築士事務所全国大会、創立60周年記念事業、災害対策、法制度対応、青年部会等及び適合証明業務登録機関に関するそれぞれの事業計画の内容の説明がなされた。

加藤理事より、総務・財務に関する事業計画のうち、建築士事務所登録事務手数料等についての見直し検討は確実にやってほしいとの発言がなされ、舟幡総務・財務委員長より、精査しながら検討したいとの回答がなされた。

議長より、令和4年度事業計画について諮ったところ、資料1のとおり承認した。

2) 令和4年度収支予算の承認の件

居谷専務理事より、資料2によって一般会計及び適合証明業務登録機関特別会計の令和4年度収支予算について、次の趣旨の説明がなされた。

一般会計の基本会費収入は、昨年6月に変更した会費規程により、構成員数に応じた額を計上した。会費規程変更前の令和2年度に比して、527万円減少している。また、適合証明技術者の登録件数の減少等多大な減収により、2会計間の経費按分率を一般会計95%（前期比3%増）、適合証明業務登録機関特別会計5%（前期比3%減）とした。

議長より、令和4年度収支予算について諮ったところ、資料2のとおり承認した。

3) 令和3年度建築士事務所全国大会（熊本大会）の中止に伴う精算の承認の件

岩本熊本大会運営特別委員長より、資料3によって次の趣旨の説明がなされた。

令和3年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止し、熊本大会は令和4年度に延期することを9月の理事会で決定したが、熊本大会がこれまで準備に要した支出の一部については、主催者である日事連が負担し、令和3年度内に精算することとしたい。

議長より、令和3年度建築士事務所全国大会（熊本大会）の中止に伴う精算について諮ったところ、資料3のとおり承認した。

4) 第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）の実施要領の承認の件

熊本大会会長の南常任理事より、資料4によって熊本大会の実施要領及び収支予算について説明がなされた。

議長より、第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）の実施要領及び収支予算について諮ったところ、資料4のとおり承認した。

5) 既存住宅状況調査技術者講習の登録機関の更新の承認の件

上野業務・技術委員長より、資料5によって次の趣旨の説明がなされた。

平成29年6月に既存住宅状況調査技術者講習の登録機関として国土交通大臣の登録を受け、講習事務を行ってきたが、令和4年6月に5年の登録期限を迎えるため、継続更新したい。

議長より、既存住宅状況調査技術者講習の登録機関の更新について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

6) 令和4年度共同要望運動の実施の承認の件

南広報・渉外委員長より、資料6によって次の趣旨の説明がなされた。

令和4年度の共同要望書も、要望先に目を通してもらいやすく、限られた時間で端的に要望内容を伝えるため、昨年度と同様、4項目の骨子と説明用資料とするが、一部文章を修正した。

議長より、令和4年度共同要望運動の実施について諮ったところ、資料6のとおり承認した。

(4) 報告事項

1) 業務報酬基準の改正の検討について

居谷専務理事より、資料7によって業務報酬基準の改正に向けたスケジュール等について説明がなされた。

2) 「BIM GATE」の公開について

佐野BIMと情報環境ワーキンググループ主査より、資料8によって次の趣旨の説明がなされた。

国土交通省の住宅市場整備推進等事業（建築基準法・建築士法等の円滑な執行体制の確保に関する事業）を活用し、BIMポータルサイト「BIM GATE」を3月31日に開設することとした。本サイトは、BIMの初心者からBIMを活用した業務を展開したい設計技術者、BIMを活用している建築士事務所を探している建築主やインターンシップ先を探している学生など、BIMに関わる幅広い方々を対象とした情報ポータルサイトとなっている。

3) 今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方（第三次報告）及び建築基準制度のあり方（第四次報告）について

居谷専務理事より、資料9によって今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方及び建築基準制度のあり方について説明がなされた。

4) 会員・構成員異動報告

事務局より資料10によって、令和3年11月から令和4年2月の単位会別構成員数及び賠償責任保険加入者数等の報告がなされた。

5) その他

児玉会長より、欠席した相原理事からの伝言が紹介された。

①法定講習がオンライン化されることで、日事連・単位の講習会収益が減少する可能性があるとのことだが、単位会としては死活問題である。日事連として単位会のために何か対策を取られるのか。

児玉会長－オンライン化による影響は、事業計画承認の議題で加藤理事より発言があった事務所登録事務と同様なところで、委員会等で検討していくことになると思う。

②単位会組織強化支援事業の採択の垣根を高くしているように思う。選考式という点にも疑問を抱くのは私だけだろうか。事業実施に費やす時間と労力を考慮すると、均一に支援金等として単位会に配布した方が、事務局（単位会・日事連とも）にも負担がかからないと思う。

児玉会長－総務・財務委員会で議論してもらえればと思う。

<配付資料>

資料1：令和4年度事業計画書（案）

資料2：令和4年度収支予算書（案）

資料3：熊本大会中止に伴う主管会への精算について

資料4：第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）実施要領（案）

資料5：既存住宅状況調査技術者講習の登録機関の更新について

資料6：令和4年度共同要望運動の実施について

資料7：業務報酬基準（告示98号）に関する改正方針（案）とアンケート調査における対応について他

資料8：「BIM GATE」開設プレスリリース

資料9：今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方（第三次報告）及び建築基準制度のあり方（第四次報告）について

資料10：会員・構成員異動報告等

■第6回 景観・まちづくり専門委員会概要

日 時 令和4年4月7日（木）13：30～15：15

場 所 日事連会議室

出席者 委員長 柏本 保

委 員 村田良太、米田正彦、小澤勝美、小林正澄、

内田康博

事務局 居谷、前田、鈴木

<配布資料>

資料1-1：会員の景観・まちづくり活動の事例提出単位会（執筆者）一覧

資料1-2：景観・まちづくりの活動事例原稿

資料2：景観・まちづくり専門委員会（4/7）において取り決めた事項

追加資料：管理研修会テキスト－まちづくりの改訂内容

参 考：兵庫会会誌「くすのき」（2022. 2 148号）

議 事

1. 建築士事務所協会会員の景観まちづくり活動に関する事例の冊子作成に関する各事項の確認、検討

○会員の景観・まちづくり活動の事例提出単位会（執筆者）および原稿内容について、資料1-1、1-2により確認した。

16単位会から24事例提出されている。九州の事例がないため、米田委員が熊本会に提出できないか確認することとした。

○冊子作成に向けて取り決めておきたい事項について、資料2に基づき確認、検討した。

（1）冊子の名称について

- ・「景観・まちづくり活動事例集（サブタイトル）持続可能なまちづくり」とする。なお、全体の内容がまとまってきた段階で再度確認する。

（2）冊子の体裁、構成等

<体裁>

- ・1冊の頁数一約65～70頁（増える可能性もある）
- ・A4サイズ、カラー刷り
- ・表紙一中厚の紙とし、デザインは美しい光景の写真など特徴的なものを事例の中から引用することで考えたい。

<構成等>

- ・はじめに：1頁（景観・まちづくり専門委員会委員長名で柏本委員長が執筆する）
- ・目次：2頁
- ・事例集の企画内容の概要、事例分類説明、SDGsの説明：

8頁以内で米田委員が執筆する。

- ・事例集（24事例）：掲載一覧1頁＋事例54頁（見開きで2頁、オーバーする場合は4頁）
- ・事例ごとに委員のコメントを入れる予定にしていたが、スペースに限りがあるため、最後に各委員のコメントをまとめて入れるようにしたい。
- ・「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」の改訂テキストに「まちづくり」を入れることにしている。参考に事例集に入れてもよいが、そのまま入れることはできず、余分なものもあるので、内田委員が事例集用に掲載できるか検討することとした。

<校正>

- ・印刷会社からあがってきたグラ刷りを執筆者に確認してもらう。また、ある程度まとまった段階で委員がチェックすることとする。5月中旬以降を予定。

2. 公表方法および作成部数等

- ・印刷部数は1,000部を基本とし、各単位会へ20部寄贈する。さらに希望する単位会には有償で提供する。
- ・委員から、有償でも単位会で購入したいとの意向があり、作成部数を把握するため、単位会へ購入希望部数のアンケートを実施する。
- ・日事連ホームページで公表する。

3. 今後のスケジュール

- ・4月中旬－単位会へ有償必要部数のアンケート依頼
- ・4月末～5月上旬に印刷会社へ原稿入稿
- ・5月中旬以降、初校を各執筆者へ確認依頼および委員チェック
- ・6月末までに全体まとめ
- ・7月8日－「専門委員会開催（最終内容確認→校了へ）」
- ・8月－印刷完成、公表

4. その他

○第7回委員会

令和4年7月8日（金）13:30～15:30

■第10回会誌編集専門委員会 議事概要

日時 令和4年4月8日（金）15:00～17:00

場所 日事連会議室

出席者 委員長 小泉 厚 副委員長 宇塚幸生

委員 田端友康、鈴鹿美穂、佐藤光良、齊藤滋史(Web)、
荻窪伸彦、福山雅也

担当理事 南孝雄

オブザーバー (株)ジェイクリエイト－城市奈那

事務局 居谷、前田、三浦、鈴木

<配布資料>

資料1：令和4年5月号台割

資料2：令和4年6月号台割

資料3：令和4年7月号台割

資料4：特集企画の提案（小泉委員長、宇塚副委員長、
佐藤委員、福山委員）

参考1：令和3年度 年間台割表

参考2：令和4年度 年間台割表

議 事

1. 直近の会誌（3・4月号）の掲載内容についての意見交換
会誌の掲載内容について、各委員より感想等が述べられた。

<3月号>

- ・日本のタワーの歴史の特集は各タワーの資料も入れてよくまとまっていてよかった。東京タワーの過去の経緯もよく書かれていた。右上端の鳥居と五重塔のシルエットもよかった。大阪梅田スカイビルの展望台がタワーとしては異質な感じがした。照明の内容があってもよかった。
- ・美術館巡りの太陽の塔は立派に再生がなされたのがよくわかった。太陽の塔と通天閣は大阪の2大シンボルになっていくのではないかと感じられた。
- ・単位会だよりの会員増強は、これらの活動を参考に会員を募っていかねばと感じられる内容だった。山形会の県・市町村の担当者と若手建築士事務所との情報共有・意見交換や、熊本会のオブザーバー制度が非常に参考になった。

<4月号>

- ・半屋外空間の特集は、事例が多くてよかったと思う。図面・全体の配置図がないものがあり、できれば入れてほしかった。
- ・「バンクシーって誰？展」はとても楽しく興味深く読ませてもらった。機会があれば行ってみたいと思わせた。現在は大阪で行われているようである。
- ・佐藤委員の建築士の休日は、ストーブ用の薪割りも自らして良い家で楽しく過ごされている様子が感じられてよかった。
- ・建築まちづくりNEWSで、木造の屋外階段等に関する設計および工事監理等については重要なので、もう少しクローズアップして書いてもよかった。
- ・「建築士事務所が知っておきたい法律知識」の間取りの変更が瑕疵となるケースでは、施主への細かな説明、証拠書面を残すことが重要であることを改めて認識させる内容であった。
- ・賠償責任保険NOTEで圧密沈下による排水管破損については、吊り金物に関する特記仕様をつけていなかったのか、施工不良で設計者にも責任が及んだのか、もう少し解説がほしかった。
- ・斎藤委員の編集後記で、グランピングは自分ではできないがとても印象に残った。

2. 令和4年5月号の編集状況報告

ジェイクリエイト及び事務局より、5月号の掲載内容について資料1に基づき説明がなされた。

◇特集は「大学キャンパスの魅力づくり」を掲載。

- ・「近年の大学キャンパスの動向」について、立命館大学教授の及川清昭氏が執筆する。
- ・その他、近年に竣工、改修され話題になっている4つの大学キャンパスを取り上げる予定である。

なお、図面と配置図に関しては、他の特集記事でもそうだが、入手できるものに限られることを了承してもらいたい。

◇表紙の選定

- ・ジェイクリエイト社より候補写真5点を上げてもらい検討した。
- ・候補写真は主に大学の内観のものになっているが、特集はキャンパスとしているので、外観で目を引くものを採用す

べきとの意見が出された。追手門学院大学の施設の外観を推され、ジェイクリエイトが表紙にする前提で当施設を設計した三菱地所設計にもう少し角度の良い写真の提供を依頼することとした。

写真の提供が得られれば、各委員にメールで確認してもらうこととした。

◇その他の主な記事

- ・「日事連建築賞受賞作品」では、優秀賞受賞の(株)日建設計が設計した早稲田大学本庄高等学院の体育館を紹介する。
- ・「美術館・博物館巡り」は、兵庫県立美術館+Ando Galleryを兵庫会会員が執筆し掲載する。
- ・隔月で載せている「続BIMで変わる、BIMで変える」では、BIMでつくったアナログな時間を福岡会会員が執筆し掲載する。
- ・「建築士の休日」は、香川会に依頼し、会員に執筆してもらっている。
- ・編集後記は小泉委員長が執筆。

3. 令和4年6月号以降の特集企画等の確認、検討

ジェイクリエイトおよび事務局より6月号および7月号の台割案に基づき説明がなされた。(資料2、資料3)

○6月号

◇特集は「商店街にエール(仮)」を掲載。

- ・「まちの温度を変える商店街活性化」をテーマに(株)ホーホウの代表取締役・木藤亮太氏にインタビューを行う。
- ・事例では、円頓寺商店街(名古屋市)と沼垂テラス商店街(新潟市)を掲載するが、もう少し増やすこととする。

◇その他の記事

- ・熊本大会の案内と併せて昨年4回に亘って熊本県内の建築物を掲載した「訪ねてみたい街ガイド」を再開し、もう一度4回に亘り掲載していく。
- ・令和3年度日事連建築賞の優秀賞受賞作品mother's+を竹中工務店一級建築士事務所が紹介する。令和3年度の受賞作品の紹介は最終回になる。

・編集後記は宇塚副委員長が執筆。

○7月号

◇特集は「橋のある景観（仮）」を掲載。

- ・「歴史に残る全国の代表的な橋」を取り上げる。執筆候補として（公財）東京都道路整備保全公社・紅林章央氏に依頼する予定。
- ・「橋梁デザイナー・大野美代子氏の軌跡」として東京大学名誉教授・篠原修氏に執筆を依頼する予定。
- ・その他、建築家が携わった橋をコラム形式で紹介する。現在は6件ほど上げている。
- ・佐藤委員より山梨県大月市にある猿橋を取り上げる提案があり、同委員がフォーラムの中で執筆するか、全国各地の橋の中で紹介するか調整することとした。

4. 特集企画の提案

○小泉委員長「今後の特集記事への提案」、宇塚副委員長「団地のミライ（新しい団地への試み）、佐藤委員「日本庭園」、福山委員「提案1「階段の魅力ー歴史的建築物にみる階段あれこれ」と提案2「農業と建築」により特集として提案され説明がなされた。（資料4）

協議の結果、以下の特集を取り決めた。

- ・8月号ー宇塚副委員長提案「団地のミライ（新しい団地への試み）」
- ・9月号ー福山委員提案「階段の魅力ー歴史的建築物に見る階段のあれこれ」
- ・佐藤委員提案「日本庭園」は正月に因んで1月号を予定する。
- ・福山委員提案の「農業と建築」はもう少し時間をかけて、色々な事案が出てきたときに考えたい。

5. その他

○会誌のWeb配信で9単位会が解像度の改善を求めているため、この度違うソフトで試作した。その使い勝手について編集委員より感想等をもらいたいのので、各委員にメールし依頼することとした。

○次回委員会：令和4年6月8日（水）14：00～16：00

■主な行事予定

令和4年

5月	17日	BIMと情報環境WG
	19日	業務・技術委員会
	20日	青年部会連絡会議
	23日	総務・財務委員会
	25日	業務報酬基準WG 監査会
	26日	記念誌刊行分科会
	31日	正副会長会 常任理事会
6月	2日	法制度対応特別委員会
	7日	日事政研役員会 理事会
	8日	会誌編集専門委員会 構造技術専門委員会

令和4年4月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 令和4年4月1日～4月30日
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,309事務所
 賛助会員 5社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	在籍数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道	+ 2	1,001	4,261	23.5 %	+ 3	294	29.4 %
青 森	+ 2	164	922	17.8 %		44	26.8 %
岩 手	+ 2	264	849	31.1 %		73	27.7 %
宮 城	+ 1	333	1,907	17.5 %		83	24.9 %
秋 田		145	1,034	14.0 %		48	33.1 %
山 形		203	1,107	18.3 %		61	30.0 %
福 島		227	1,518	15.0 %		66	29.1 %
茨 城		441	1,919	23.0 %	+ 2	166	37.6 %
栃 木		163	1,324	12.3 %		78	47.9 %
群 馬		185	1,638	11.3 %	+ 1	92	49.7 %
埼 玉		451	4,628	9.7 %		143	31.7 %
千 葉		348	3,320	10.5 %		117	33.6 %
東 京	+ 7	1,603	14,841	10.8 %	+ 3	632	39.4 %
神奈川	+ 6	726	5,886	12.3 %	+ 3	233	32.1 %
新 潟		309	2,219	13.9 %		139	45.0 %
長 野	△ 1	398	2,068	19.2 %		113	28.4 %
山 梨		105	814	12.9 %		15	14.3 %
富 山		297	1,159	25.6 %		67	22.6 %
石 川	△ 2	311	1,265	24.6 %		65	20.9 %
福 井		209	954	21.9 %	+ 1	57	27.3 %
静 岡		381	3,047	12.5 %		137	36.0 %
愛 知		512	5,037	10.2 %		136	26.6 %
三 重	+ 1	186	1,191	15.6 %		65	34.9 %
滋 賀		183	1,114	16.4 %		41	22.4 %
京 都		372	2,195	16.9 %	+ 1	110	29.6 %
大 阪		794	6,356	12.5 %	+ 2	245	30.9 %
兵 庫	+ 1	352	3,560	9.9 %		102	29.0 %
奈 良		106	856	12.4 %		27	25.5 %
和歌山		115	734	15.7 %		22	19.1 %
鳥 取	+ 1	118	483	24.4 %		55	46.6 %
島 根		109	610	17.9 %		58	53.2 %
岡 山		366	1,426	25.7 %		74	20.2 %
広 島		349	2,286	15.3 %		153	43.8 %
山 口		104	1,011	10.3 %		40	38.5 %
徳 島		111	834	13.3 %		18	16.2 %
香 川	+ 1	86	1,028	8.4 %		21	24.4 %
愛 媛	+ 2	185	1,182	15.7 %	△ 1	50	27.0 %
高 知		137	640	21.4 %	+ 1	34	24.8 %
福 岡		472	3,271	14.4 %		176	37.3 %
佐 賀		183	598	30.6 %		48	26.2 %
長 崎		238	798	29.8 %		45	18.9 %
熊 本		234	1,407	16.6 %		102	43.6 %
大 分		151	860	17.6 %		47	31.1 %
宮 崎	△ 1	114	1,042	10.9 %	+ 1	48	42.1 %
鹿児島		291	1,103	26.4 %		88	30.2 %
沖 縄	+ 1	177	1,313	13.5 %		69	39.0 %
計	+ 23	14,309	97,615	14.7 %	+ 17	4,597	32.1 %

※建築士事務所登録数(B)は令和3年4月1日時点の数字である。